



神奈川県立川崎図書館が所蔵する
 全国有数の〈社史コレクション〉を
 さらに活用していただくため、
 社史の使い方や、社史の楽しさ、
 社史情報などをお届けしていきます

去年の初開催に続き、今年も「社史フェア」を開催することになりました。

県立川崎図書館が寄贈などで収集した前年（2014年1月から12月まで）に発行された社史（経済団体史等を含む、以下同）を、まとめてご覧いただけます。

約200点を見やすく展示します。日本で当館だけのイベントです。

開催の準備に際して、去年、皆様からいただいたアンケートを読み返しました。とくに記入の多かった「土日も開催してほしい」という声を受けて、今年は一日延長して、土曜日も開催することにしました。

社史フェア2015開催。

数行のコメントを付けた社史紹介のパネルは、とても好評だったので、平均2行程度の解説を3行程度にするなど情報量を増やしています。また、昨年の会場では「縦書きの社史はどれですか」と何度か訊かれたので、今年はパネルに、縦書き・横書きマークの表示を加えたりもしています。去年同様にリストの配布もします。そのほか、特色ある内容などがわかりやすいようにと、随所に見どころガイドのPOPを表示します。

（開催の詳細などは、裏面へ）



2015/05



SHASHI FAIR 2015

2015.6.24 ▶ 6.27
 Kanagawa Pref.
 Kawasaki Library

社史という日本の文化を支えます。

社史フェア 2015 のロゴ。顔のマークは当館の建物を正面から見た姿をデフォルメしたもので「かわとくん」と呼ばれています。職員（有志）は、ロゴの付いたスタッフTシャツを作って着ています。

(表面から続く)

「社史という日本の文化を支えます。」というキャッチコピーも付けました(いちおう、5・7・5の標語っぽくしています)。海外の社史事情は詳しく知りませんが、ここ数年、社史を担当しているの実感を言葉にしました。

周年事業などの際には、多くの会社で社史の刊行が候補になります。編纂作業が動き出したら、とまどいながらも、アイデアを出しあつて、会社の歩みをまとめていきます。その過程には、会社の考え方や社風が詰まっています。そして、完成した社史は百社百様で、それぞれにいろいろな想いがこめられています。この一連の流れを「日本の文化」と思えるようになりました。全国有数の社史をコレクションする当館が、社史フェアなどの活動を通して、社史という文化をさらに豊かなものにできれば幸いです。

なお、去年の傾向として、14時から15時頃はけっこう座席が混みました。午前中は比較的、空いています。じっくりご覧になりたい方は、午前中の来館をおすすめします。また、冷房の微調整がしにくい施設なので、調節しやすい服装でいらしてください。

(科学情報課・高田)

「社史フェア 2015 ～ 社史という日本の文化を支えます ～」

日時：6月24日(水)から27日(土)

(10時から17時まで／24日(水)のみ13時から17時)

会場：神奈川県立川崎図書館 2階ホール



※ お申込み等は不要です。

※ 当館ホームページでも、随時、最新情報を発信していきます。

【社史フェア 2015 担当スタッフからひとこと】

個人的な印象ですが、昨年に比べ、社員の姿が前面に出ている社史、読みやすく工夫されている社史が増えた気がします。我々スタッフは、社史を一冊一冊、手に取りながら、どう魅力を伝えようか考えています。会場でも気軽に声をかけてください。きらっとした発見があることを楽しみに、お待ちしております。(高)

いつもは社史室で硬派に収まっている社史が、平置きされ、解説が付くことで、手に取りやすいものになるという体験を昨年しました。今年は、さらに見どころガイドが加わり、より魅力ある催しに進化しています。会社は人の意志や思いで成り立っていることがよくわかります。ふらっとご来場、お待ちしております！(青)

昨年度は平日だけの開催にもかかわらず、多くの方にご覧いただくことができました。初めての開催で戸惑いつつ、大変嬉しく思いました。新たなスタッフTシャツを着用し、みなさまのご来訪をお待ちしています。(松)

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>